

# 絵日記で考える外国人の人権問題



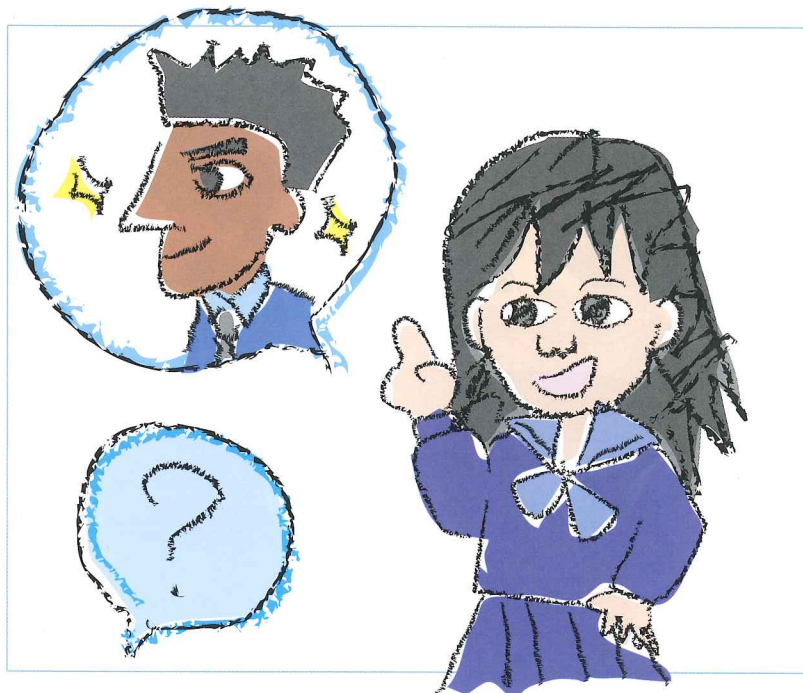
◇月×日(月) ☀

お父さんが外国人に話しかけられたらしい。何をいっているのかわからないし、驚いて、つい聞こえないふりをしたらしい。

驚いたのはわかるけど、聞こえないふりをするのはどうかな。

その人は道に迷っていたのかもしれないし、おなかが痛かったのかも……。

知らない顔してたなんて……。



☆月△日(火) ☁

お父さんに「外国人ってなあに」ときいてみた。「日本人じゃないんだよ」と答えた。

「背が高い」、かっこよくて、女の子にやさしい人のことよー!とおねえちゃんが言った。

話を聞いていたお母さんは「ひとくずに外国人といっても、たくさんいるのよ。アジアやヨーロッパ、アフリカの人。肌の色も違うし、言葉も違う、ご飯の食べ方も違うわよ。」と言った。



◎ 月□日 (水) ☁️🌧️

今度、お姉ちゃんの学校に外国人が来るらしい。  
 先生から「ホームステイ先を探しています」とい  
 話を聞いたお姉ちゃんが、お父さんとお母さんに  
 相談したらしい。お父さんは「でも、言葉が  
 通じないとなあ。一緒に生活するとなるとねえ。」  
 それを聞いていたお母さんは「言葉だけに  
 頼ることはないんじゃない？一緒に生活すること、  
 分かり合えることもあるわ。うちにホームステイし  
 てもらいましょよ」と言った。



× 月○日 (木) ☁️

公園で外国人がぼくのけりそこねた  
 ボールを拾ってくれた。言葉もわか  
 ないし、お父さんより大きくて、  
 びっくりした。  
 でも、ぼくはお父さんとは違ふよ。  
 「ありがとう」って言ったもの。  
 やさしい外国人だったなあ。



昨日からずっと考えた。お父さんがびっくりしたのも「外国人」、ぼくが「ありがとう」って言ったのも「外国人」。

お父さんもぼくも日本人だから、「外国人」から見ると同じ「日本人」なの？

でも、びっくりして、何も聞かない振りをしたお父さんと同じにされるなんて、ぼくはいやだなあ。「外国人」の人だって同じ気持ちじゃないかなあ。

□月☆日（金）



写真をみた！びっくりした！みんなかわった格好をしている！お母さんが笑いながら説明してくれた。

「日本にも和服があるのと同じよ。たまたま日本に生まれたから、洋服や靴や和服があっただけ。もし、この国に生まれていたら、きっと、この格好におどろくことなんじゃないわ」

◎月×日（土）





戦争の話を書いた。

□月△日(日) ☀️

なんで戦争なんかおきるのかな？みんな仲良くできないの？みんな同じじゃないといけないの？誰かが誰かのいうとおりになくちゃいけないの？

みんなが自由でみんなが違って、でもみんなが仲良し！どこの国にいてもいいじゃない！そしたらみんな幸せになれるの！！来週のホームステイが楽しみだなあ！

国際化がすすみ、私たちが外国の人々や文化とふれあう機会も多くなりました。また、海外へ出かけることもめずらしいことはありませんし、私たちが暮らす町にも、外国の人はたくさんいます。

町で外国の人に話かけられそうになったとき、思わず目をふせたことはありませんか。

「私には話しかけないで！」

「関わりたくないなー。」

このようなことを考えてしまうこともあるでしょう。なぜ、こんなふうに思うのでしょうか？

地球にはたくさんの異なる国があり、いろんな民族が暮らしています。一人ひとりが別々の「人」です。その人一人ひとりがそれぞれの考えをもっています。「外国人」と、ひとくくりでいうのではなく、その「人」自身を理解し、認めていくことが本当の交流につながるのではないのでしょうか。

